

平成28年度 会館だより 第2号

新入寮生同期会開催

岩手県学生会館

平成28年7月15日発行

新入寮生同期会開催

新入寮生の同期会が去る6月26日(日)に開催されました。入寮してから3ヶ月経ち、寮生活に慣れながらも新たな課題がないか、皆さんから話を聞くためのものです。今回は特に話題にはなるようなものはありませんでしたが、会そのものは盛り上がりつつありました。歓迎会以来の催しでしたが、初めて話したという人もいて、今後も開催したいという声が多かったようです。



最初は岩手銀行さんからいただいたジュースで乾杯



企画、買い出しご苦労さん



最後は人も増えて



遅ればせながら私も新入寮生

私の大学放浪記

館澤洋希（盛岡第一卒）

会館だよりを読んでいるみなさん、こんにちは。私は今年四月からこの学生会館に入った館澤洋希といいます。提出し損ねた新入寮生からのメッセージの代わりに少々長い文章を書くようにとの通達がありましたので東京の蒸し暑さに朦朧とする脳みそをふりしぼりながら拙文を書き連ねていくことに致します。

私は現在二十二歳なのですが、四月に東京大学に入学したばかりの一年生です。それも大学院ではなく教養学部です。要するに四浪して入ったということなのですが、さすがの東大でも現在は現役で入る人が六割強という時代なのでこの経歴はいささか浮いているようです。よかったらそんな私の経歴でも暇つぶしに読んでみてください。

私は幼少のころから空への憧れのようなものを持っていて、パイロットになりたいとか天文学者になりたい、気象予報士になりたいなど夢が変遷していました。高校に入っ

てからは宇宙論か純粋な理論物理学を学びたいと思って東北大学の理学部物理系を志望していました。それが高校二年の秋ごろに担任の先生に勧められたのもあって東大志望に変えました。そこが私の大学放浪記の始まりだったのです。

今から時をさかのぼること四年と少々、盛岡第一高校を卒業した私は東大を含め一つの大学にも合格することができずにあえなく浪人となりました。大手予備校である河合塾の仙台校に一年通って勉強しましたがまだ東大には及ばず、後期日程試験で拾われて北海道大学へ行くこととなりました。

しかし根っからの天邪鬼で負けず嫌いな私は大学に通いながら第一志望大学合格を目指す浪人、いわゆる仮面浪人をすることを決断しました。私は自分の頭脳が並一通りではないという自信（過信）を持っていたのもう一年あればなんとかなるだろうと考えていました。ところが二兎追うものは一兎を得ずと言うべきか、札幌では一人暮らしだったこともあって次第に生活リズムは乱れ、大学の授業には出なくなり、夜明け前に寝て午後（時には夕方）になってから起き、外に出たかと思えばゲームセンターに行くような堕落極まる生活をしていました。三度

目の東大受験の結果は当然のように不合格。同時に留年も決まり、私は北大で二年目の一年生を迎えることとなります。

普通はここで諦めて心を入れ替えて大学に通うものなのでしょうが、ここでやめれば今までやってきたことの後悔の念に苛まれることは明白でした。私は両親の放任主義につけ込んでもう一年仮面浪人することを決め、世に云う三浪となりました。そんなこんなで前年の教訓をもとに大学にも進級はできるくらいに通いながら受験勉強をしましたが、またしても受験の女神は微笑んでくれませんでした。

もはや精根尽き果てた私は北海道大学を卒業することに決めました。北海道大学も旧七帝大に数えられる名門大学だし、将来もなんとかなるだろうと踏んでいました。ところがどっこい、私は北大では理学部の化学科に所属していたのですが、授業に面白さを見出だすことができませんでした。東大に行って物理をやりたい、でも化学も好きだからもし北大に行くならノーベル化学賞受賞者である鈴木章さんを輩出している化学科にしよう。そう思って北大の化学科を受験していたのです。しかし科目として好きだった化学でも専門としてやるのはわけが違いました。東

大への未練も拍車をかけ、もう大学には行きたくない、もう一度だけ東大を受験したい、次第にその思いが強くなりました。このわがままにはさすがの両親も難色を示しましたが、もう決めたことだからと引き下がりなかつたのもあって受験を許可してもらいました。札幌には戻らない決意で大学を休学してお盆前に実家に引越し、盛岡中央ゼミナールに通って勉強をし、晴れて数年来の悲願を果たしたのでした。

これを書いていてもあの時あしてあれば、こうしていれば、と思うことは尽きません。たしかに浪人はしなかった人と比べれば貴重な経験といえますが、失うものも多いのでしなかにこしたことはありません。それに浪人しているうちに期待を膨らませすぎたというのがあります。ようやく入った念願の東大も必ずしも自分が描いていた理想とは同じではありません。ですがそう思えることも全て今までの自分がもがき苦しんで得た現在だからこそだと思います。結果的に物理学分野で日本の最高峰である東京大学で学べることは何物にも代えがたいチャンスだと思っています。これまで育て支えてくれた両親、応援してくれた家族、友人、先生方すべてに感謝します。

それでは、これを書いていて大学に遅刻するのではないのでこら辺で筆を置かせて頂きます(これWORDで書いてるんですけどね)。暑さにはめっぽう弱いので将来は岩手に帰りたいなあと思っっている今日この頃なのでした。

様々な、人それぞれの人生。そして誰もが生きればそれなりの人生となる。皆さんも良き人生となるよう挑戦する気持ちを忘れずに頑張ってください。なお、最後の一人は次回に掲載となります。

岩手県人の集いに五人参加

今年度の岩手県人連合会(瀬川爾朗会長・学生援護会理事)の総会並びに懇親会が六月五日ホテルラングウッド(東日暮里)で開催されました。今年度は事務局(坂本已由事務局長・学生援護会理事)のお計らいで会館の学生5人が招待されました。開会前の準備をお手伝いしながら、総会、懇親会に参加しました。岩手の香りを久しぶりに堪能したのではないかと思います。最後はお土産までもいただき、ぜひ来年も、という声が出ていたようです。



会館からの連絡

○会館の夏休について

今年度の夏休みは8月13日(土)～22日(月)です。この間は食事の提供はありません。当然欠食届の提出も必要ありません。その他、お風呂の入浴制限もかかりますが、これは後日お知らせいたします。

○ミニキッチンがリニューアルされました

すでにご承知のこととは思いますがミニ

キッチンが改修されました。明るく、きれいになったと評判は上々のようですが、次の点に気を付けてください。

一、IHヒーターは置かれた場所でお使いください。以前は水がかかって故障し、修理が大変でした。洗った食器等は絶対ヒーターの上には置かないでください。

二、ゴミ箱は調理した時に出したものだけを入れるようにしてください。基本的にミニキッチンには自主管理が原則です。調理器具、ゴミの搬出、清掃等気が付いたら自ら行ってください。

三、今まで置いてあったゴミ箱は移動しましたので気を付けてください。決して居室のゴミは出さないようにご協力ください。



○ベッドの使用について

備え付けてからかなりの年数が経ちますが、ベッドの使用についてはできるだけ長持ちさせるようご協力ください。使用するときは必ずベッドパットを敷いてからその上で各人の寝具をご使用ください。以前、シーツ交換の際パットやベッドカバーを出した人がいましたが気を付けてご使用ください。ない人は申し出てください。

○掃除機、アイロンの貸し出しについて

今まで、事務室で手続きをしてから貸し出していましたが、直接、あるいはもの申す箱を通じて要望がありましたので、これからは男子2階、女子4階にどちらも一台ずつ備えておくことにします。階段側の倉庫におきますので自由にお使いください。必要事項を記入し、使用後は直ちに返却してください。なお、事務室にも一台備えておきますので緊急時には今までどおり申し出てください。

○母校訪問について

夏休みや、諸事情で母校を訪問する方には会館のPRをしていただくために手土産代を支給する制度があります。既に今年度も一名の方が出向いてくれました。先生・後輩方に会館の利用案内を渡していただくだけです。予定のある方は事務室までおいでください。積極的にご

活用ください。

○夏休み前慰労会について

恒例となっていました夏休み前慰労会については、皆さんのテストの時期と重なることから今年は思い切って夏休みが終わってから、つまり皆さんが揃う九月に開催することになりました。ご了承ください。後日、自治会長から日程等をお知らせいたします。

【編集後記】

第2号お届けいたします。1号で積み残した分と、会館での動きをお知らせできればと思っております。学生の皆さんは5月の山を乗り越え、今は各大学ごと日程は若干違いますが、テストに集中しているようです。そして、それが終わればいよいよ夏休み。様々な体験を積んでほしいものです。終わって、一段とたくましくなった姿で会館に戻ってきてもらいたいと思います。

佐々木

平成二八年七月十五日発行

編集並びに発行元

公益財団法人岩手県学生援護会

岩手県学生会館

同 学生自治会

住所 東京都豊島区要町二丁目5番5号

tel 03 (3972) 4783

fax 03 (6676) 4471